

令和3年度

まちづくり推進部 増田地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 増田地域局
所属長名	阿部 隆雄

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域のみなさんが愛着を持ち「人と地域が燦くまち」を目指して、地域づくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・地域課題の解決に向けて、地区交流センターの取組みが、住民と一体的に運営できるよう支援する必要があります。
- ・地域の歴史と文化を活かし、関係する団体などと連携を進め、さらなる地域の魅力向上に努め、暮らしやすい地域にする必要があります。
- ・市民から親しまれる地域局として、市民に寄り添った対応や庁舎など公共施設の安全安心で適正な維持管理が必要であります。

3. 今年度の『スローガン』

一歩前進、歴史と文化が息づく、明るく元気な地域づくり

4. 今年度の方針

- ・市民が主役の持続可能な魅力ある地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを進めます。
- ・市民に愛着と歴史、文化、まんが等に誇りの持てるまちづくりを進めます。
- ・市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を図ります。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民が主役の持続可能な魅力ある地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを進めます。
	取組内容	①地区交流センターの取組み・運営を支援し、各地区の相互交流が図られる活動を推進します。 ②各地区の取組み・活動状況など全地区を紹介する情報発信の機会を設け、地域住民の理解と参加を推進します。
(2)	実現したい成果	市民に愛着と歴史、文化、まんが等に誇りの持てるまちづくりを進めます。
	取組内容	①市民が町並み・まんがが美術館や地域の伝統文化を誇りに思い、団体と連携しまちづくりに活かせるよう努めます。 ②地域の学校、地域の各団体などと一体となり、地域の魅力を紹介する取組みを推進します。
(3)	実現したい成果	市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を図ります。
	取組内容	①庁内各課の情報共有を図り、円滑で丁寧な誘導をし、来庁の皆さんが利用しやすい庁舎を目指します。 ②庁舎利用の市民の安全安心を図るため、施設改修の適正な管理を行います。 ③スムーズな窓口対応と多種多様な相談に対し、的確な対応に努め、信頼される地域局を目指します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市民が主役の持続可能な魅力ある地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを進めます。
- ・センター長会議、担当者会議を毎月定期的に開催し、地域や運営にかかる課題解決に向けた積極的な支援、活動の推進に関わっている。
 - ・地域全体のセンター第1回合同連絡会を開催し、情報共有を図ると共に、センターだより(1回/月)の発行により地域住民への理解と参加を推進している。
- (2) 市民に愛着と歴史、文化、まんが等に誇りの持てるまちづくりを進めます。
- ・まんが美術館を含めた各団体と町並みの情報交換会を定期的(1回/月)に開催し、情報共有や意見交換により地域資源の有効活用を推進している。
 - ・地域の学校が町並み団体、自治会と一体となり灯籠イベントなどへの取組みやコミュニティスクールとして地域内の課題や活性化への学習についてサポートし、推進している。
- (3) 市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を図ります。
- ・庁舎改修による来庁者への安全確保、来庁者の動線を察知した声掛けによる安心感を享受できる環境を整えた。雪害による施設の補修等を実施した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 市民が主役の持続可能な魅力ある地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを進めます。
- ・センター長会議、担当者会議を継続し、合同連絡会などの開催による情報の共有化を図り、各センター事業への参加や合同事業の企画により、持続可能な地域づくり活動を推進する。
- (2) 市民に愛着と歴史、文化、まんが等に誇りの持てるまちづくりを進めます。
- ・地域の学校、団体と情報共有し、連携協力を進め、地域資源の有効活用、魅力の発信、継承の取組みを推進する。
- (3) 市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を図ります。
- ・庁舎改修について降雪期前の完成を目指す、天下森スキー場等の整備計画や体育館の大規模修繕に向けた取組みを進める。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 市民が主役の持続可能な魅力ある地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを進めます。
- ・地区交流センター長会議、各地区交流センター担当者会議を定期的な開催を継続し、併せて合同連絡会を開催し情報の共有化を図り、各地区交流センター事業への地区外への参加や合同事業の企画により、持続可能な地域づくり活動を推進できた。企画した事業の中止が多く、今後も工夫しながら、継続して取り組んでいきたい。月1回のセンターだよりの発行や市ホームページへの掲載を今年度より開始した。
- (2) 市民に愛着と歴史、文化、まんが等に誇りの持てるまちづくりを進めます。
- ・地域の学校や各種団体と情報共有を図り、連携協力を進めることにより魅力を発信することができた。しかし継承に向けた取組みは、地域の伝統行事もその多くが中止又は縮小になるケースが多く、工夫して開催できるよう、今後も取組みを進めていきたい。「子ども自然体験塾」については県内の小学生を対象に、ほぼ毎月開催することができた。
- (3) 市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を図ります。
- ・各施設の適正な維持管理ため工夫しながら努めてきた。しかしながら老朽化した施設が多く、利用に際し不便をおかけした施設もあり、修繕に向けて関係機関と検討を継続しなければならない。コロナ禍で活動停止を余儀なくされた市民への健康相談、健康教育などのサポートや感染拡大防止のため、関係機関との連携、指導のもと衛生対策の強化、継続に努め、信頼されることが求められる。